

令和5年9月4日

那賀医師会 会員各位

那賀医師会

地域医療担当理事 田中 賢

令和5年度 第5回公立那賀病院との合同勉強会のご案内

公立那賀病院との合同勉強会を下記のとおり行います。ご多忙中とは存じますが、多数のご参加をお願い致します。

記

日 時：令和5年9月14日（木）午後4時から

場 所：公立那賀病院 北別館 1階講義室

演 者：公立那賀病院 産婦人科
科長 吉村 康平 先生

演 題：「子宮頸がん Up to date」

抄 録：別紙をご参照ください。

※この勉強会は日本医師会生涯教育講座：1単位
カリキュラムコード：（ 8 ）を申請中です。

※お手数ですが、B会員の先生方にもご案内下さいますようお願い致します。

別紙

抄録：

子宮頸がんは、HPV(ヒトパピローマウイルス)の持続感染が原因であることが多い。妊娠出産に関わる時期に診断され、治療のために子宮や卵巣を摘出せざるを得ない場合もある。

子宮を温存できた場合でも、その後の妊娠出産にはリスクが伴うため、不安が尽きない。

HPV ワクチンによる子宮頸がん予防効果が見込まれ、2013年に HPV ワクチンの定期接種が積極的接種勧奨となったが、その2ヶ月後に一部の加熱した報道などの影響を受けて一時差し控えとなり、その後多くの女性が HPV ワクチン接種を受ける機会を逃すこととなった。

HPV ワクチン接種が定期接種となっている海外の国では、接種後に子宮頸がんの著明な予防の効果がすでに示されている。WHO は HPV 関連癌のリスクにさらされている日本の状況を危惧し、安全で効果的なワクチンが使用されないことに繋がる現状の日本の政策は、真に有害な結果となり得ると警告している。2022年(令和4年)4月より、HPV ワクチン接種が公費で補助される制度(キャッチアップ接種)が開始され、さらに対応する HPV の型が増えた9価のワクチンも接種開始されている。

今回、子宮頸がんとその予防のための HPV ワクチンについて紹介する。